お台場学園だより

令和４年７月号
港区立小中一貫教育校
お台場学園港陽小・港陽中学校
〒135-0091 港区台場 1-1-5
小学校　03-5500-2572
中学校　03-5500-2575

保護者と語る道徳教育

校長　大島　一浩

先月 18 日（土）に、今年度の「道徳授業地区公開講座」を行いました。中学校は１校時に、小学校は学級で分けて１,3 校時に道徳の公開授業を実施しました。２校時には保護者・地域の方と教員がアリーナに集まり、学校運営協議会会長の司会進行による「意見交換会」を実施しました。テーマは「保護者と語る道徳教育」。

保護者の方からは、授業の進め方、座席の配置、取り扱う題材について等、多岐にわたり貴重なご意見をいただきました。学校からも道徳の授業の目的、取り扱う内容についての考え方等の説明を行い、意見交換は非常に意味のある機会になりました。保護者の方からいただいた意見も参考に、今後の道徳授業の充実に努めていきます。

道徳の教科としての目標は、「よりよく生きるための基盤となる道徳性を培う」とされています。地域の方からは、道徳性は家庭や地域、学校が相互に協力しながら育むものであることを聞いて、地域としてできることをしていきたい、という意見もありました。本校がコミュニティ・スクールとして、地域と学校・保護者が、子どもの道徳性の涵養という面でも、協働していることを実感しました。

以前、道徳の研修で教えていただいたことです。『「心」は見えないけれども「心遣い」は見える。見えない心を見るための鏡が、道徳の教材である。』　良い教材には力があります。子どもたちは、教材の登場人物が身近とはかけ離れていても、自分の思いを乗せて考えることができます。その経験の積み重ねが将来の行動につながってくれることを願っています。

また道徳とは別に、学校では身近な学級等の課題解決には「特別活動」の時間を充てています。４年生以上の学年では、毎年６月と 11 月に「楽しい学校生活を送るためのアンケート（hyperQ-U）」を実施していましたが、それが今年度より「WEBQU」になりました。これは従来の紙面への回答ではなく、児童・生徒が直接、タブレットに入力する形式のものです。集計結果がすぐにわかるので、毎月の生活アンケート等の結果と併せて、その後の学級経営に生かしています。また、学校弁護士、警察署、地域の関係諸機関等と連携した「いじめ対策校内委員会」を開き、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努めています。

お台場学園における　児童・生徒の学校生活について

【６月のふれあい月間の取り組みについて】

港区の学校では年３回、ふれあい(いじめ防止強化)月間と称し、いじめ、自殺、暴力行為等の問題行動、不登校等の早期発見・早期対応、未然防止等につながる取り組みを推進しています。本校でも様々な取り組みを毎年行っているので、今月は、６月に小学校で行ったものを以下に紹介します。

①「あいさつ運動」・・・登校時や休み時間に代表委員の児童に大きな声で元気よく挨拶するとシールがもらえる取り組みでした。台紙をシールでいっぱいにしようと、どの学級も積極的に挨拶をする姿が見られました。

②「ふれあい月間標語」・・・学級で話し合いをし、実態に合った標語を決めました。各教室前に掲示してありますので、保護者会等で是非ご覧ください。

ふれあい月間を通して、友達の大切さや心が明るくなるような挨拶、言葉遣いなどを学び、これからの生活に生かせるよう、小・中学校共に、教職員一同で指導していきます。

（生活指導主任　小 内藤　真由子　・中　青山　麻希）

放送委員会より

放送委員会は、学校生活を支える重要な委員会です。

中学生は、お台場学園の上級生として、学校放送全般に対して責任をもって仕事に取り組んでいます。登校時に行う朝の放送、朝礼の準備や片付けなど、専門的な知識を生かしながら日々の活動を計画しています。

小学生は、初めての委員会活動となる５年生や最高学年となった６年生が協力し合いながら取り組んでいます。朝の放送や昼の放送など、正しい機械操作と聞き取りやすい説明を心掛けて活動しています。今後も、放送委員として何ができるのかを考え、放送委員一同心をそろえて活動したいと思います。

(中学校　技術科　岸田　興治　　小学校　宮崎　洋平　野中　美希　齋藤　たず子)

第９学年より

ようやく待ちに待った宿泊行事を実施することができました。そして、たくさんのことを学ぶことができた修学旅行となりました。一昨年、昨年と宿泊行事が中止になり、このメンバーで、朝から夜までの１日を過ごすことが初めてでした。

そんな中、新幹線、バス、寺社見学、宿舎と常に一緒に行動することで、お互いを尊重しつつ、楽しく過ごすことができました。仲間としての絆が深まったように感じます。９年生の行事はどれも「最後の」という言葉がつきます。今回の行事は最初で最後の宿泊行事でしたが、とても有意義で、実り多いものとなりました。これから、９年生は受験という大きな山に挑むことになりますが、仲間で支え合い、乗り越える力が身に付いたことと思います。保護者の方々にはいろいろな面でご協力いただきありがとうございました。　　（９学年主任　木暮　道子）

特別支援教育コーディネーターより

小学校・中学校では、特別支援教室「そよかぜ教室」を開室しています。特別支援教室とは、生活面や学習面での困難を克服・改善するための指導を行うために設けられた教室です。また、通常の学級の教室内での一斉指導において、苦手な部分を補うために、個別的に支援を行う学習支援員を配置しております。

現在、これらの支援を受けておらず、今後、特別支援教室の通級あるいは、学習支援員の配置を希望される保護者の方は７月１５日（金）までに、担任、特別支援教育コーディネーター鈴木（裕）・松山、または副校長にご相談ください。　　（特別支援教育コーディネーター鈴木　裕貴子）

【７・８月の主な行事】

４日（月）	読書週間始	２１日（木）～２２日（金）	夏季学園（５年生）
６日（水）	全校道徳	２５日（月）～２９日（金）	面談週間・補習教室（中学校） 夏季補習・夏季水泳（小学校）
８日（金）	漢字検定		
１２日（火）	避難訓練	８月１９日(金)～２１日(日)	夏季学園始（中学校）
１３日（水）	保護者会	２２日（月）～２６日（金）	夏季水泳（小学校）
１５日（金）	読書週間終	２９日（月）～３０日（火）	夏季補習教室（中学校）
１９日（月）	給食終	３１日（水）	夏季休業日終
２０日（火）	終業式	※８月８日（月）～８月１９日（金）は、学校閉庁期間です。	
２１日（水）	夏季休業日始		

【スクールカウンセラー　相談曜日】

○青木　理恵子　火曜日（小学校）
○奥野　典子　　金曜日（小・中学校）
○原　　由美子　月曜日（中学校）

電話連絡先
●小学校　03-5500-2572
●中学校　03-5500-2575